



# 1人1台端末で、活動が共有できる！

1人1台端末  
活用の事例

単元名「ものが燃えるしくみ」

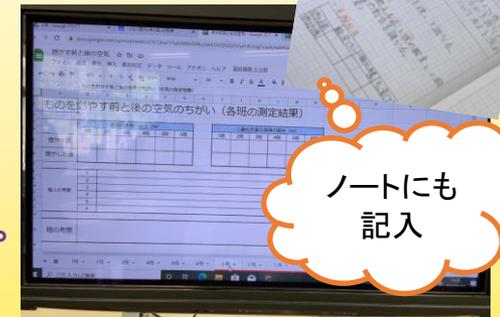
“ものが燃えるときの空気の変化”の実験結果を共有して考察

～美作市立美作北小学校～



①ものを燃やす前と後の空気の、酸素と二酸化炭素の濃度を気体検知管で調べました。実験前には、予想を「Chromebook」を使用し、スプレッドシート※に一人一人記入しました。

②班ごとに実験の結果を打ち込んでいきます。他の班の結果が見えて、瞬時に、自分たちの結果と比べることができます。

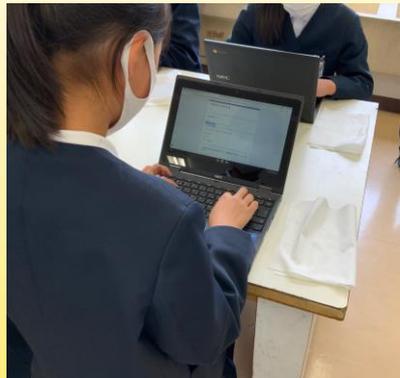


ノートにも  
記入

環境や校務の工夫が  
業務の改善に！



★保管庫の端末は、番号が貼ってあるかごの中に入れておきます。また、毎朝の健康観察の記録は、担任がクラスルーム※に入力し、職員室に届きます。



③個人で考察を打ち込んだ後、班で話し合い。他の班の結果や考察も共有してまとめることができます。その後、振り返りはフォーム※で行います。振り返りの活動は個人でじっくり考え、先生に送信します。

活用の  
効果は？



①班の実験結果を共有することで、測定の実差が生じることがあっても、全体の数値の傾向を見て考察することができます。

②振り返りをフォームで行うことで、集約が簡単にできます。

※Googleのアプリのスプレッドシートは表計算。フォームはアンケート集計で活用。クラスルームではデータの共有や配布ができます。